

発信！地域自慢⑥  
白銀南地区

## ホタルの里づくり

～ホタルを通じて環境を考える～

☎市民連携推進課 ☎ 43・9182 FAX 47・1485

大久保・白銀台・岬台の三地区連合町内会や地元の諸団体で構成される「白銀南公民館協力会」が主体となっ  
て行っている「ホタルの里づくり」について、白銀南公民館の大久保喜八郎館長と、白銀南公民館協力会長である、  
岬台地区連合町内会の大館恒夫会長にお話をうかがいました。



(左) 白銀南公民館  
おおくぼきはちろう  
大久保喜八郎館長

(右) 岬台地区連合町内会  
おおだてつねお  
大館恒夫会長

### ○ホタルが舞う環境づくり

大館会長 当地域には、<sup>かんすげ</sup>勘助川という小川が流れており、かつてはホタルが乱舞していました。今の子どもたちにも、当時のような光景を見てほしいと思い、平成7年から活動を始めました。

大久保館長 地元住民からなる「ホタルボランティア推進委員会」が、年数回の草刈りや清掃活動を行っているほか、放流を行うために、ホタルの幼虫とその餌となるカワニナを、年間を通して飼育しています。

### ○環境に対する意識啓発

大久保館長 こういった活動により、勘助川はホタルが飛び交う環境を取り戻しており、ホタルの鑑賞会を兼ねて6月下旬に行われる「ホタルの里まつり」では、きれいな光

景を楽しむことができます。昨年、白銀南小学校の児童とその保護者に行った、地域の自慢についてのアンケートでは、ホタルの里が第1位になりました。

大館会長 近隣の保育園の子どもたちを招いて、幼虫の放流会を行ったり、白銀南小学校で、ホタルの学習会として、活動の説明をしたりしています。これらの機会を通じて、ホタルはきれいな水にしか育たないから、皆で地域をきれいにしていきましょうという話をして、子どもたちの、環境に対する意識啓発をしています。

### ○ホタルの里のこれから

大館会長 現時点では難しいかもしれませんが、これから先、人が手を入れなくても、自然にホタルが飛び交う場所になることが願いです。生き物を扱うということで、非常に困難な活動ですが、ボランティアや公民館協力会、地域住民が一致協力して活動できればと思います。



幼虫の放流会のようす